

荒井英治 Eiji Arai ヴァイオリン



1979年に新星日本交響楽団、1980年には東京交響楽団のコンサートマスターに就任し、1989年からは東京フィルハーモニー交響楽団のコンサートマスターを務める。ソロ・コンサートマスターとして2015年まで同楽団で活躍する。

その間、秋山和慶、大野和士、R.バルチャイ、J.コヴァーチュ、井上道義、R.ゾルマン、H.M.シュナイト、D.エッティンガー、C.ミヨン・フン、W.フェドセーエフ等とコンチェルトを共演する。

1992年、モルゴーア・クアルテット結成に参画。当初よりショスタコーヴィチの全弦楽四重奏曲に取り組み、注目を浴びる。以後も知られざる作品を定期演奏会で順次紹介し、さらにはプログレッシブ・ロックを自らの編曲により迫真性に満ちた再現を行い、衝撃を与えている。

現在、日本センチュリー交響楽団及び、名古屋フィルハーモニー交響楽団の首席客演コンサートマスター。東京シティフィルハーモニック管弦楽団の特別客演コンサートマスターを務める。

東京音楽大学教授。